

行政視察報告

<視察目的>

- ・ 議会改革について
- ・ ICT 分野での研究内容及び実機視察
- ・ 空き家対策について

<視察概要一覧>

視察月日	視察先	視察施設	視察内容
7月18日	茨城県 取手市	取手市役所	議会改革について
7月19日	茨城県 つくば市	農研機構 食と農の科学館外	ICT 分野での研究内容の講義 及び実機視察
7月20日	栃木県 栃木市	栃木市役所	空き家対策について

<視察概要報告>

●概要：取手市 議会改革について

(説明概要)

議会事務局岩崎局長補佐から、資料により詳細な説明を受ける。

- ① 女性議員（議員24名中7名が女性）による議会改革特別委員会を設置し、当面の諸課題について期限を設け取り組む。
- ② 議会報告会の開催
- ③ 決算審査特別委員会の設置について

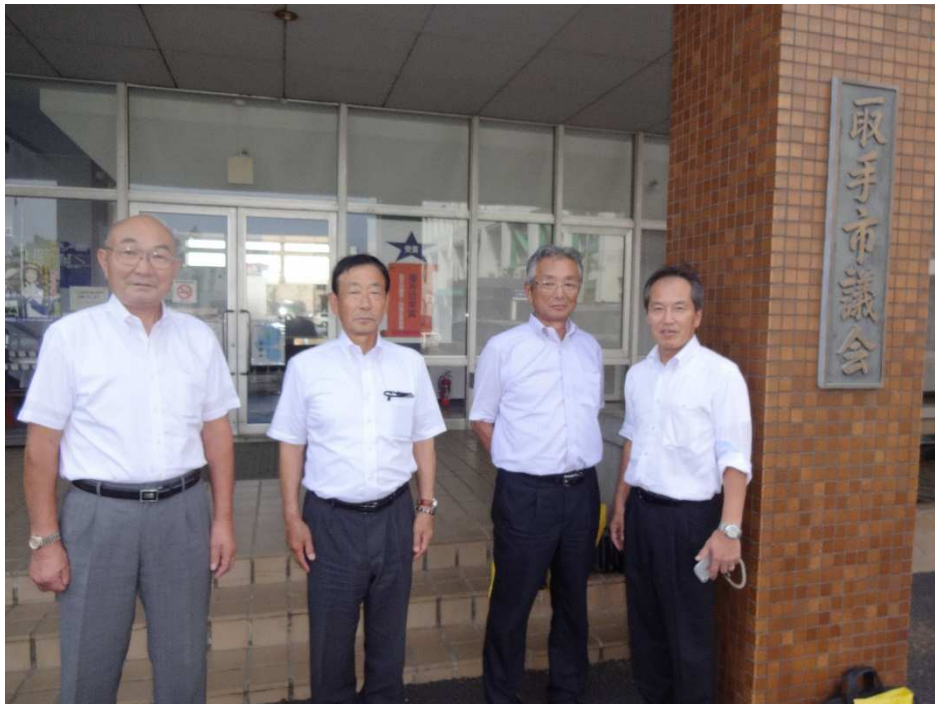
●質疑

- ① 設置後、18回の委員会を開催し、精力的に課題を解決する為、党派を越えて活動された。
- ② 試行開催から、議会基本条例の改正し、意見交換会への足跡は参考になる内容である。
- ③ 課題調査シート、又、課題情報共有シートの取り組み

<考察>

議会事務局職員の理解（協力）と、議員が協働体制の中で諸課題に取り組まれている。

特に女性議員による特別委員会は、会議規則の改正、議員報酬等の条例改正、市議会の在り方に関する決議、意見書の提出等、たいへん参考になる取り組みであった。



●概要：つくば市 農研機構

(説明概要)

- ・ 「食と農の科学館」と広報課栗山明子さんの説明で日本の農業の歴史と研究成果、新しい技術等見学する。
- ・ ICT 分野での研究内容等を高度作業支援システム研究領域 八谷満領域長より講義を受け、隣接する農場でトラクターの実働デモを見学する。

●質疑

- ・ 科学館見学中は水稻の品種等の改良、適作について意見交換する場面があった。
- ・ ICT 分野では現在の日本の農地を守るため労働力の将来数値に対し、機械化 ICT 化による革新的研究で成果を上げねばならないと説明があり、大型圃場整備、農地の汎用化について意見交換があった。

<考察>

国立研究開発法。農業・食品産業技術総合研究機構を略称「農研機構」と言うが、全国で職員は3,500人を越えるとのこと。つくばには約半分の方が日夜研究をされていると説明があった。日進月歩の機械化、ICT化に対応し品種の改良等々、日本の農業が守られる礎を感じた。外国人労働者が雇用されているワールド感を抱いた。



●概要：栃木市先駆的空き家対策について

(説明概要)

資料により担当の大野住宅課長、荻原主事により説明を受ける。又、移住、定住の支援メニューを掲載したパンフが作成されていて、利用の手続や買いたい方、借りたい方の利活用がスムーズに流れる思いで説明を受けた。

●質疑

- ・ 市と協定を結ぶ宅建協会の業社の数は、市内 31 社、市外 7 社と極めて協力体制が構築されていると思えた。
担当課員（住宅課）8名で内4名が直接の担当者である。
- ・ 移住体験施設「IJU テラス蔵人館」は、市の直営管理であるが将来は指定管理を考えている。

<考察>

若者世代が住みたい田舎 2年連続日本一の実績は、①いい物件を安く与える。②行政の適切な支援。その前段に市長命で空き家条例を制定し、危険家屋の解体助成補助で、市民の関心が高まり大きな成果があったと冒頭の発言で良く理解出来た。

一方で安来市のホームページへの適切な助言が数項目あり感謝した次第であった。極めて有効な視察であった。

